



山の本 6月

『空飛ぶ山岳救助隊：ヘリ・レスキューに命を懸けた男、篠原秋彦』

羽根田治著 山と溪谷社（ヤマケイ文庫）786.1/ハ/

『ドキュメント気象遭難』 羽根田治著 山と溪谷社（ヤマケイ文庫） 786.1/ハ/

山で起きる大きな事故のほとんどは、気象の急激な変化による「気象遭難」であろう。その原因はどこにあるのか、防ぐ方法はあるのか。新旧の気象遭難事故から7件のケースを取り上げ検証する。

『ドキュメント生還：ドキュメント生還』

羽根田治著 山と溪谷社（ヤマケイ文庫） 786.1/ハ/

山で遭難し、生死の境をさまよった後に生還した登山者に密着取材。彼らはいかにして生き延びたのか。悪天候や寒さの中、食糧も絶えた極限状態からの生還の理由を、遭難者の肉声から探る。

『ドキュメント滑落遭難』 羽根田治著 山と溪谷社 786.1/ハ/

山ではちょっとした不注意から、つまずいたり転んだりして、大ケガや死に直結する大事故になることが多い。その危険因子はどこにあるのか。7件の遭難事例を取り上げ、原因を探り、防ぐ方策を検証する。

『ドキュメント単独行遭難』 羽根田治著 山と溪谷社 786.1/ハ/

重傷を負い、あるいは道を失って山中にただひとり。その「自由の代償」はあまりにも重い。単独行登山による7件の遭難事例の経緯を検証し、死亡率2倍の実態を明らかにする。『山と溪谷』等の掲載記事を再構成して単行本化。

『ドキュメント雪崩遭難』 阿部幹雄著 山と溪谷社 786.1/ア/

登山者、スキーヤー、スノーボーダーを一瞬にして悲劇のどん底につき落とす雪崩。未然に防ぐ方法はあるのか。生死を分けた紙一重の行為とは。最近起きた雪崩

事故から8件のケースを取り上げ検証する。

『ドキュメント道迷い遭難』 羽根田治著 山と溪谷社 786.1/ハ/

道に迷い、何日間も山中をさまよう恐怖。登山者の盲点でもある、誰もが陥りがちな道迷いによる遭難。7件の事例を取り上げ、原因の究明と未然に防ぐ方策を検証する。

『山の遭難：あなたの山登りは大丈夫か』

羽根田治著 平凡社（平凡新書） 786.1/ハ/

ひんぱんに報じられる山の遭難事故。厳冬期の北アルプスだろうと、ハイキングで行く山だろうと、遭難事故は、いつ誰に起きても不思議ではない。「明日はわが身」にならないために必要な「山でのリスクマネジメント」を考える。

『山登りトラブル回避&対処マニュアル：必携』

野口いづみ著 大泉書店 786.1/ノ/

登山前・登山中のリスク回避やアクシデントに対応した初心者向けのマニュアル。自然災害への対処、山登りのトラブル回避、体調トラブル、ケガの応急処置などをイラストや写真を交えてわかりやすく解説する。

『山岳遭難の教訓：事例に学ぶ生還の条件』

羽根田治著 山と溪谷社（ヤマケイ新書） 786.1/ハ/

春の爆弾低気圧、10月のブリザード、吹雪にかき消えたルート、スキーツアー中の雪崩事故、ゴールデンウィークの低体温症…。山岳遭難事故を検証してその教訓を伝える。『山と溪谷』『ワンダーフォーゲル』掲載を新書化。

『転倒・滑落しない歩行技術：事故を防ぐための歩き方とトレーニング』

野村仁著 山と溪谷社（ヤマケイ産学新書） 786.1/ノ/

転倒・滑落事故などの遭難事例とともに、山で転倒・転落・滑落しないために知っておきたい、身につけておきたい歩行技術を紹介する。登山計画の立て方・登山に役立つトレーニングなども収録。